

General stores	307,959	スナの二機; 空中磁力計
契約調査研究	1,060,083	とシンチロメーターを搭
臨時費雑費	69,187	載 物理探査用
計	2,053,248	
1)+2) 合計	3,178,609	
同年度における管理関係の予算は次のとおりであった(単位オーストラリアドル)		
俸給	1,097,617	
管理関係費用	481,148	
旅費日当	155,604	
出版	99,904	

1966/67年度においてもほぼこれと同様の額で石油探査補助金が1200万ドル程度 その他が500万ドル程度である。いずれの年においても石油探査補助金の額が非常に大きく1966/67年度においては全オーストラリア石油探査費の30パーセントをカバーするといわれオーストラリア連邦政府の国内産石油生産拡大に対する熱意がうかがわれる。

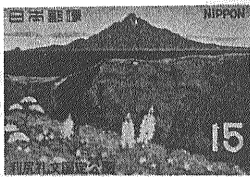
とくに記すべき保有器械としては次の3つがありそのうちの一つは日本製である:—

- 1) Helger & Watts (British), Direct Reading Optical Spectrograph, (3 meters)
 - 2) X-Ray Fluorescence Spectrograph, Philips 1210(Dutch)
 - 3) Electron Probe X-ray Microanalyser, Jeo 1 JXA-3 A, Japan Electron Optics Lab.Co., Ltd. (Japanese)
- このほかに Helger Large Quartz Spectrograph, Polarograph, Plane photometer, Spectroplotometer, Atomic Absorption Spectrograph などがある

野外記録具について;これは1966年夏のエカフエ地質会議の折に 当局次長のフィッシャー博士によって紹介されたからすでにご存知の方もあることであろう。またこれと同様のものはすでに日本でも製作使用されている。ボーリングや坑内・地上の露頭などで連続した層序の記録をとったりする時のために考案されたもので片方のまき手からトイレトペーパーのようにのびてくる記録用紙にかきこみ これを他端のもう一つのまき手でまきおさめていく簡単なものであるが 野外で使用すれば誤りがなく よごれず まきもどしも自由で 軽くもある。詳細な設計図も同次長のご好意によって与えられ 日本の地質調査所の方にお渡ししてあるから 興味のある方は同所特殊技術課長に照会されたらよろしいかと思う。

与えられた1963年10月現在の地質ブランチの組織表によるとダーウィン テナントクリーク ラバウル ポートモレスビー ワウ アリススプリングスなどの僻地に出張所 駐在員事務所があり また地球物理ブランチは現在ポートモレスビーに観測所をもっている。火山観測所についてはその職員 自動車および技術的監督は当局の所管であるが その他は各地方州により また地球物理観測所は全く当局の所管に属する。鉱山局の仕事は各州がそれぞれ行なう。

(筆者は元所員 現エカフエ事務局勤務)



利尻・礼文国定公園

堀内 恵彦

北海道の北西端に当たる 原始景観に富む 利尻・礼文の両島 および 抜海から稚咲内の海岸部 合計167.03km²の地域が 公園指定区域です。

利尻島…稚内港の西方約20kmにあり 直径19kmのほぼ円形で 島の中央部にコーンデ式の美しい利尻山(通称利尻富士; 1,718m)がそびえ 山麓は海岸まで延びていて 標高1000m以上の区域には リシリヒナゲシなどの高山植物が多く 利尻個のものもみられます。山腹から山麓にかけては トドマツを主とする天然林が繁っています。北海岸には鷺泊・西海岸には沓形の港があり 漁業の基地として使われています。公園地域は 利尻山を中心に島全体の43%におよびます。

礼文島…利尻の北々西約8kmにあって 東西6km 南北22kmの 細長く扁平な感じの島で 白亜紀の地層を主とします。最高峰礼文岳(419m)は中央部のやや西寄り にあって 西海岸には海蝕崖が発達しており この海岸と礼文岳南西部に レブソウ・レブソウスユキソウなどの 寒地性浜植物および高山植物の群落がみられます。公園地域は この礼文岳を含む西海岸一帯の 島の50%におよぶ部分です。

抜海・稚咲内海岸…稚内市街の南4kmの地点から約40kmにわたる海岸線が該当地で 日本海に面して 砂丘が2列に発達しており そこに 沼・沢・湿地の点在する サロベツ川の河跡湖を主体とする湿原景観で タチギボシ・エゾカンゾウなどが見られ また この湿原の背後には エゾイタヤ・カシワなどの広葉樹林が広がっています。

以上が概況ですが この公園の利用は その立地条件から 7~8月の夏期に限られます。近年は年間10万人を越す人々が訪れております。

公園の指定は昭和40年7月1日 切手は本年5月10日の発行 礼文からみた利尻の景観を画く15円切手です。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)